R7.1.14～17　研修先:台湾

協同の力で問題に立ち向かっていこう!

青壮年部副委員長
合志支部　坂本（さかもと）　悠三（ゆうぞう）㊱
生産品目:カスミソウ

研修1日目 味覚の違いを実感

福岡空港から飛行機で約2時間半、台湾（台北桃園空港）へ到着。機内食のお茶が甘いのが衝撃的でした。台湾の人は甘いものが好き、苦味と塩味が苦手のようです。日本人がおいしいと感じるものが、他国の方にとって必ずしもおいしいとは限らないのだと考えさせられました。

安定生産可能な水耕栽培の植物工場

台湾到着後、最初に向かったのは桃園市（とうえんし）にある源鮮ファーム。食の安全、健康、おいしいを理念として掲げられていました。ガンになった社長の経験から健康への意識が高まり、農薬を使わない健康的な野菜作りを目指したそうです。視察した場所は、水耕栽培の植物工場で、水耕栽培のベンチが14段重なっていてLEDの照明が取り付けられ、クラシック音楽が流れていました。

ケール、サニーレタス、ルッコラなどの葉物野菜を1日8000～1000キロ生産し、すべて台湾内へ出荷されています。台湾の露地で栽培が難しい品目に絞り、競合がないようにしているそうです。

LED照明で栽培

研修2日目 水が豊かなネギの産地

台湾の北東に位置する水が豊かな宜蘭県（ぎらんけん）に行きました。ネギの産地であるとともに、受賞経験があるウイスキー工場がありました。この地域では、1年のうち300日は雨が降るというくらい雨が多い地域で、日本でいう屋久島のような気候だと思いました。

ネギの収穫体験

この地域は、見渡す限り10アール程の田んぼが続いていて、ほ場や畔（あぜ）管理も綺麗にされており、台湾の方の作業の丁寧さをうかがうことができました。

青ネギ農場では、ネギ饅頭作りの体験をすることができました。ネギ饅頭は、台湾の屋台でも売られている台湾人に馴染みのある料理で、自分で作ったネギ饅頭はとても美味しかったです。ネギは甘味があり、やわらかい食感でした。その後、ネギの収穫体験もさせてもらいました。雨が多く、川の氾濫も度々あるそうですが、肥沃（ひよく）な栄養が川から運ばれ、美味しいネギが育つのだとわかりました。

台湾も日本同様、農家の高齢化が進み、若者の就農者は少ないようです。しかし、台湾は日本より農産物価格は高く、肥料農薬代や人件費は安いので、台湾の方が農業はやりやすいと思います。台北（たいぺい）市内の見学では、蒋介石（しょうかいせき）が祀（まつ）ってある中正記念堂にも行きました。

中正記念堂前で

研修3日目 多種多品目に富んだ朝市

台北市内にある濱江市場（青果・花卉等）を視察。1985年に設立され、高品質の生鮮品を取扱い、多くの業者が買い付けに来る市場です。旧正月が近づいていたこともあり、農産物の数は多くなかったですが道向かいの朝市で多種多品目の農畜産物、花卉青果物が並んでいました。

花が並ぶ市場

台湾全農で学んだ台湾の日本産食品市場

台湾全農インターナショナル株式会社は台湾への国産農畜産物の輸出拡大を目的に2018年4月に設立されました。輸入と現地販売に必要なライセンスを保有し、日本各地の農畜産物や加工品を取り扱っています。

台湾は経済成長が進んでおり、共働き家庭が多く、外食や中食（デリバリー）などが好まれています。スーパーでは日本の農産物は人気があるそうですが、今の日本の米は単価が高く売れ行きがよくないようでした。青果物は、日本よりも農薬規制が厳しく、輸入時の検査で廃棄処分されるケースもあり、リスクが高い分野だと感じました。

2019年より直営店舗「じゃじゃ」を台北市内にオープンし、日本産農畜産物や加工品を販売しています。また、JAグループの販促支援等も行っているそうです。

熊本県農協青年部の希望者による海外研修会がありました。JA菊池より、合志支部の坂本さんと泗水支部の倉本さん2人が参加しました。

台湾全農で参加者と

泗水支部　倉本（くらもと）　達明（たつあき）㊵
生産品目:トルコギキョウ

研修4日目 東京ドーム140個分のサイエンスパーク

最終日は新竹市（しんちくし）にある新竹サイエンスパーク内の探索館へ。台湾に科学技術を発展させることを目的とした施設で、東京ドーム140個分の広大な敷地に国際的に活躍する台湾企業や、世界各国の先進科学企業の工場などもありました。台湾の最新科学がつまった製品が多数展示されていました。

農業でもICTやAI、ドローンやロボット技術など、人間の労働を最適化するための道具の一つとして位置付けておかなければならないと感じました。

TSMCミュージアムにも立ち寄り、たくさんのことを学びました!

菊農通信

菊池農業高校　文部科学省指定　農業経営者育成高等学校（全国25校・九州4校・熊本県1校）

感動、感謝、思いやり、夢を育み未来を創る菊農生 ～あらゆる可能性を見つめ一歩前へ～

catchphrase 社会人・職業人の基盤となる社会性と自己指導能力を育成する

菊池農業高校生の今 思い出の修学旅行

令和7年1月15日から4日間、2年生が修学旅行で関東へ行きました。1日目は全員で東京班別自主研修です。各班予定していた場所をしっかりと研修することができました。スカイツリーでは夕暮れ～夜景を見ることができました。2日目からのスキー研修では、慣れないながらも手取り足取り教えていただき、楽しく滑ることができました。4日間でたくさんのことを経験することができ、楽しい思い出となりました。

園芸科

農業科

生活科

園芸科

食品科

農業科

生活科

3・4月 菊農の行事

3月／
- 24(月) 3学期終業式
- 25(火) 合格者説明会
- 27(木) 転退任式

4月／
- 2(水) 新入生物品販売
- 8(火) 1学期始業式
- 9(水) 入学式、入寮式